

第7回フォーラムのテーマ 「市町村合併とは何か？」

～市町村（地方自治体）とは？自治とは？行政とは？住民とは？～

開催日時： 4月19日（月）／19：00～21：00
場 所： ふれあいセンター2F 「老人憩い室」
参加人数： 5名（白馬村5名）

長野県北安曇地方事務所から総務課事務主幹企画振興係長伊藤敦さんを招き、長野県市町村「自律」支援プランと「未来への提言」コモンズからはじまる信州ルネッサンス革命についての話をいただいた後、限られた時間での真剣な論議をいたしました。

～提言～

**合併すれば大丈夫！
ですか？**

「合併か」「自立か」を問うことは果たして正しい設問であろうか。合併すれば自律しなくても良い、即ち、何かにすがって自治体を運営し続けることができるのであるか。また、そもそも、この問題は自治体（行政）が決めるものなのか。自治体とは、住民のためにあるものであり、**住民自体がこの問いについて真剣に答える必要がある。**

地域が自ら考え行動する、国はこれを支援する

これは、平成15年12月、内閣に設置された地域再生本部決定の「地域再生促進のための基本指針」が求める地域再生の基本的な考え方である。
平成12年4月より施行された地方分権一括法は、それまで上下関係にあった国と地方自治体の関係を変

え、また役割分担を明確にした。地方自治体は国の出先機関ではなく、「通達」といった国の関与もなくなり、国から都道府県、都道府県から市町村への権限移譲を行うとした。即ち、国も都道府県も市町村も対等の立場であり、補完し合うものとなりました。総じて市

**地域が地域らしくある
ということこそ大事”**

地域にとって「大切なもの」は何かを常に自らに問い、その「大切なもの」を維持するためにはどのようなべきかを考え、そして行動することが地域に住まう者に求められる。**自治体（行政）とは「大切なもの」の共通認識を持ち合わせる住民の活動を支援するために形成される。**

町村の権限も拡充されましたが、それは地域の住民こそ自律に向けて先に立つて行かねばならないとします。今こそ、住民自身の自覚こそ最も大事なのです。

2004年4月19日
白馬村民フォーラム
代表 渡邊俊夫

※今までの提言は、村長を始めとして関係各所に対して行ってきましたが、今回の提言は白馬村に住む全ての人にお伝えしたいと思います。

ホームページ <http://www.tagayasu.com/hakuba-f/>